

# Kaisei Family

Father and Mother, I Love You ♥

2022  
新春  
vol.63



特集

## 入試に向けて準備をしよう 入試必勝アドバイス

創立40周年に寄せて  
万事、見にやわからん  
公開テスト成績アップ者&成績優秀者  
That's 雑学  
先生からのおすすめ本

# 創立40周年に寄せて

## 「やればできる」と信じるのが子育ての原点

今年で開成教育グループは創立40周年を迎えます。昭和57年の6月に、まだ28歳であった私は、自分なりの志を抱いて大阪府豊中市内の住宅地に開成教育セミナーを開きました。その志の一つは、自塾教育を通じて当時すでに顕在化していた学力の地域間格差の問題を解消するために役立ちたいということにありました。

「人は生まれ育った地域で将来が決まることがあってはならない」というのが私の強い信念です。ところが当時から同じ地元の公立中学に通いながら、名門の公立高校への進学数や進学率が地域によって大きく隔たるといふ不平等な現実がありました。この問題はその後、社会問題化され、全国の小中学生を対象とする学力テストの実施による検証と、大阪府では公立高受験での学区制撤廃ほかの入試制度の改革につながりました。東京でも都立高校改革の一環として学区が撤廃されました。しかしながら学力の地域間格差が根本的に解消されるまでには至っていません。

では、このような問題を生んできた原因や背景はどこにあるのでしょうか？公立中学に通う生徒たちの先天的能力や資質の平均値に地域間格差が生じることはあり得ません。授業を行う教師のスキルや情熱についても同様に判断されます。とすれば、中学生時代の学力格差を生む根本原因は、小学生時代の学習法と学習量、そして日々の生活習慣の違いにあると判断するのが妥当であるようです。

私たち開成教育グループは、このような認識にもとづき、小学生時代から合理的な学習方法により効果的に基礎学力の向上が図れる学習指導に力を入れてきました。とりわけ算数の計算力と思考力、国語の漢字力と作文能力、そして英語の基礎力を鍛えていくことは将来の大学入試を展望する上でも極めて重要です。そのためにも漢検、数検ほか独自の読解作文力検定を活用し、目標志向型の学習指導を行っています。この効果の高さは、例年激戦となる公立中高一貫校受験における当塾グループの群を抜く合格率と合格数にも示されています。

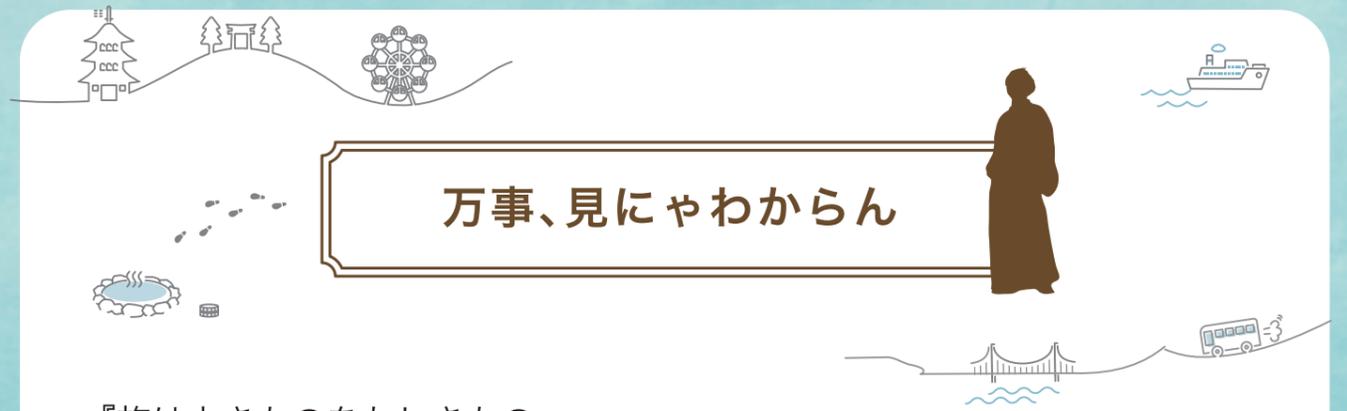
ところで、今年もコロナ禍により子どもたちの巣籠り傾向が続きそうですが、このような時にこそ家庭における保護者のサポートが大切です。保護者の関心度が子どもの学力形成に極めて大きな意味を持つことを踏まえていただきたいと思います。東京ガス都市生活研究所が2018年に子どもの勉強場所についての調査を行いました。それによると、自宅で受験勉強をする場所がリビング・ダイニングであると答えた小学生が58.9%、中学生が40.4%となっています。このことは望ましい結果でもあるのです。子どもたちは、受験勉強の時もリビングやダイニングで親に見守られながら頑張ったほうが効果が高いという説が有力です。ですから、家庭でお子さんを孤立した環境に置かず、積極的にコミュニケーションに励むことをお勧めします。



昭和57年（1982年）第一期の中二生の授業風景

開成教育グループは今年も創塾の原点に立ち返って、一人ひとりの生徒に対する親身の指導を心掛けてまいります。親身とは、まさに親の身になることに他なりません。これからも当塾とご家庭が一体となって、お子さまの豊かな可能性を伸ばしていきたいと願います。

創立者 太田 明弘



## 『旅はよきものをかしきもの』

あなたは最近誰かに手紙を書きましたか？今日の出来事、感謝の気持ち、伝えたい想い…。相手を思い浮かべながら、手紙だからこそ伝えられることもあるでしょう。そんな手紙を書くことを好んだある人物がいます。それが坂本龍馬です。「日本を今一度せんたくいたし申候」という有名な一文を含む手紙を、姉の乙女に送っています。日本ではじめて新婚旅行に行った際の様子も姉に手紙で伝えていました。土佐藩（現在の高知県）の郷土の家に生まれ、のちに討幕の立役者となった龍馬。私は大の坂本龍馬ファンであり、のちに日本史を専攻することになるなど大きく影響を受けました。今回は、坂本龍馬をめぐる旅として一昨年少知旅行を計画した際の出来事を綴ります。

さて、これだけ龍馬龍馬と言っておきながら、実は高知へ行ったことがなかった私。今回が初高知となります。正確に言うと、一度高知に宿を取り途中まで行ったものの断念したことがあります…。

去る2011年秋、大型で非常に強い勢力の台風15号は、秋の大型連休めがけ日本列島に迫っていました。四国旅行を計画していた私は、「それでも行くしかない」とわざわざ台風に向かって飛び込んで行き、結果として、龍馬脱藩の軌跡をたどる旅ではなく、土佐藩にすら入れなかったのです。経由地である香川県にて駅員さんに、「高知へ入る手段はひとつもありません！」と言われた絶望は忘れることはないでしょう。

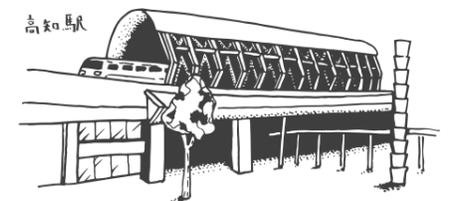
それから8年後の2019年、夏。前回の反省を生かし、経由地を挟まず直接高知駅前へ到着する高速バスを押さえ、これで多少のことであっても大丈夫だろうと思っていた矢先…。出発10日前に発生した台風10号。とても嫌な予感がします。きっと逸れるという願いに反し、日に日に完全に旅程ぴったり四国直撃の進路予想。焦った私は高速バスが

運休になる条件をネットで調べます。今回も土佐藩に入れないのではないか？蘇る8年前の記憶。なぜ私が旅行を計画すると台風がくるのでしょうか。そういうわけで何としてでも高知へ行きたい私は、綿密な天気予報分析の結果、交通手段も宿もすべてキャンセルし（キャンセル料が発生しました）、旅程を1日あとにずらして再度予約し直しました。きっと台風は過ぎ去っているはず…。

結局、本来出発する予定であった日は、台風直撃で大荒れとなりました。山陽新幹線も運休している、瀬戸大橋も大鳴門橋も通行止めになっている…。入ってくる交通情報は絶望を感じるものばかりでした。当然、通行止めが解除されない限り、四国へ行くことはできません。果たして翌日の早朝までに解除されているのでしょうか。

一翌日。私は高知行きのバスの中にいました。無事に出発できたのです。期待に胸を躍らせながら、酔い止め薬による眠気で車中をぼぼ寝て過ごしつつ、途中の休憩のたびに、目的地がどんどん近づいていることを実感するのは、そして…。いざ、高知に到着！台風一過の快晴の空からは、肌を突き刺すような強い日差しが降り注いでいます。これが高知…私は今高知に立っている…！約150年前の風景を想像し、明治維新へ向かっていくことになる当時のことをもっと知りたいという想いに駆られながら宿へと急ぐのでした。

つづく…



## Profile



ペンネーム/あずさ♪

大阪生まれ大阪育ち。開成教育グループ本社にて運営に従事。大好きなカバのYouTubeを見ることが癒し。趣味は料理。読書好きが高じて、執筆をはじめ。いつか『情熱大陸』に出たいという夢を持つ。

# 入試に向けて準備をしよう

入試本番に向けて、一生懸命勉強をしている受験生の皆さん。  
もちろん最後まで諦めずに勉強に取り組むのは大切ですが、  
落ち着いて試験に臨むための、身体と心の準備も同じくらい大切です。  
この記事を参考にして、準備万端整えましょう。

## 身体の準備

### ① 睡眠時間の確保

睡眠はしっかりととりましょう。寝ることで頭の中の情報が整理され、記憶として定着します。逆に睡眠時間が短いと、情報が整理されないだけでなく記憶が定着しないため、どれだけ勉強しても抜け落ちてしまいます。睡眠時間は6時間～8時間が最適ですので、出来る限りこの時間が確保できるようにしましょう。加えて寝る直前に暗記科目を勉強すると非常に効率よく覚えることができます。ためしてみてください。



### ② インフルエンザの予防接種

インフルエンザの予防接種は必ず打ちましょう。ただし打ったからと言ってインフルエンザにかからないわけではありません。あくまで予防接種は重症化しないためのセーフティネット。しかも今年一番流行するであろう型を接種しますので、別型にかかってしまう可能性は十分にあります。(ちなみにインフルエンザの種類にはA型・B型・C型の3種があります)それでも受験生は打っておくに越したことはありません。



### ③ マスクと手洗いうがい

新型コロナウイルスの流行で、今やマスクは必需品ですが、手洗いやうがいも徹底しましょう。ウイルスや細菌は手を通して媒介され、人の体内に入ってくることが立証されています。受験生はもちろん、家族のみなさんも協力をお願いします。



## 心の準備

### ① 日記を読み返す

これまで日記を書いていた方は読み返すと良いかもしれません。勉強で辛い時や苦しい時、先が見えない時、テストで良い点がとれて嬉しかった時や褒めてもらった時など、自分がこれまでしてきたことを振り返るだけで自信になります。



### ② 総まとめノートを作っておく

直前に見て落ち着くための特別ノートを作っておくのも良いでしょう。苦手な単元や忘れてしまいそうな単語をまとめたり、逆に得意な単元や解き方をまとめるのも有効です。ただし欲張ってたくさん書いてしまうと、焦りの原因になります。直前に見ることのできる厳選した内容にとどめましょう。

### ③ 音楽を聴く

やる気が出る音楽や、リラックスできるヒーリングミュージックなどを聴くのはどうでしょうか。音楽にはストレスを減少させ血流を増加させる効果があります。また脳内では瞑想と同じ効果が得られるため、集中力を養うことができます。移動中や待ち時間のリフレッシュのために、好きな音楽のプレイリストを作っておくのはいかがですか。

### ⑤ 友人や家族、先生たちにチカラをもらう

友人や家族に頑張る力をもらう、これが一番効果的かもしれません。「いつもありがとう」の一言をかけて家を出る、待ち時間に友人と「頑張ろう！」のメッセージを送り合う、そういったことも大切な心の準備です。開成教育セミナー・エール進学教室の先生にも声を掛けてみてください。きっと家族と同じくらいアナタを応援しています。人は誰かのためになら自分が思っている以上の力を発揮できることがあります。ぜひ周りの人から力を貰いましょう。



# 入試 Q&A

いよいよ入試本番が近づいてきました。  
気になる疑問を解決し、準備万端で当日を迎えましょう!  
さあ、憧れの志望校合格まであと少し!



## Q 入試当日の服装は何を着て行けば良いの？

A 制服があれば制服で、なければ過ごしやすい服装がおすすめです。寒い、暑いに気になって集中できないということでは本末転倒。着脱しやすい服装をして行ってください。また入試当日の服装が合否に直接関係することはありませんが、不要に目立つことは避け集中できる環境をつくりましょう。さらに面接のある方は「清潔感」を心がけてください。制服がないのであれば、地味な色の服装でまとめることをおすすめします。加えて、髪もきちんと整えておきましょう。



## Q 入試当日、何時に起きる？

A 人間の脳が動き始めるのは起床後3時間とされています。試験は9時から始まることが多いので、6時までには起きましょう。また朝ご飯は消化に良いものを食べる。ひとつは脳にいく血液量を早く回復するため。もうひとつは、脳が必要とする糖분을きちんと補給して、より活性化させるためです。



## Q 何分前に会場に着いたら良いの？

A 40分前には必ず到着するようにしてください。入試の時期は雪による交通トラブルが起きるなど、予想外の遅延が起こります。それだけでなく、会場内も人であふれて移動に時間がかかったり、忘れ物に気づいて途中で準備しなくてはいけないかも知れません。早く着いて、友人と少し会話する時間を設けるくらいでちょうど良いと思っておいってください。



## Q 休憩時間に答え合わせはしても良い？

A これは絶対にやめておきましょう。休憩時間に答え合わせをすると、うまくいっていてもいなくても、次のテストに影響を及ぼす可能性があります。答え合わせはお家に帰ってからゆっくりしましょう。それよりもまずは気持ちを切り替えて、次の科目の準備をするべきです。



# 入試必勝 アドバイス



受験生のみなさん、入試に向けての準備は順調ですか？入試直前期を迎えるまでにすべきこと、入試当日に心がけることを、入試を知る先生たちから「入試必勝アドバイス」として、みなさんへお届けします。不安な気持ちもアドバイスを読んで解決しよう。がんばるみなさんを全力で応援します！

## 英語

英語の入試問題は「長文読解」「英作文」「文法」「リスニング」の4つに大別されます。この冬取り組むべき直前対策を確認しましょう。

【長文読解】最も大きな配点を占める長文読解問題。入試当日の得点力をアップさせるために自分でできる直前対策は、「これまで授業で学習し、内容をよく理解できている長文を再度3回以上読むこと」です。その際、一文一文きれいな日本語に訳しながら読むのではなく、英語の語順通りに前からフレーズのかたまりを意識しスラッシュリーディングしましょう。入試まで1日1題、この練習をすることで長文の読むスピードが速くなるのが期待できるだけでなく、これまで学習した語彙や文法の確認を自然に行うことができます。長文読解に苦手意識を持っている人も、最後まであきらめてはいけません。授業でしっかり理解できた長文を毎日読みましょう。

【英作文】「英作文を書いたら添削してもらい、もう一度書き直すこと」です。授業で教わった英作文の書き方を復習し、必ず時間制限を設けて英作文を書き、その答案を先生に添削してもらいましょう。書き直しまですることが大切です。

【文法】新しいテキストに手を出すのではなく、「これまで使用してきた形式別問題集などを何度も繰り返し解くこと」です。間違えた問題にチェックを入れておいて、できない問題の数を減らしていきましょう。

【リスニング】リスニング問題を解いたら、答え合わせをして終わりではいけません。必ずスクリプト(音声の台本)を見直し、自分が聞き取れなかった部分にチェックを入れてください。その単語を知らなかった、その単語の正しい発音を知らなかった、もしくは音声のリンキングやリダクションにより聞き取りづらかったなど様々な原因が考えられます。チェックを入れたスクリプトを見ながら、もう一度音声を通して、その音声のあとに続いて音読練習をしましょう。「正しく聞き取るためには、正しく発音できるようになること」が重要です。

高橋ひとみ先生



## 数学

もうみなさんは公立および私立の過去問演習に入っていると思います。これから入試までの数学の勉強方法についてお伝えします。

数学は経験が大切です。1つでも多くの問題を解くことで、「問題のパターンを自分の頭の中に入れていく」ことが大切です。そういった意味では意外かもしれませんが、数学も暗記力が大切になってきます。また、過去問をしていく中で、どの入試問題も大問1は「小問集合」という計算問題や確率などの1問1答形式の問題になっています。この小問集合でどこまで点数を取ることができるかが一番大切になってきます。入試の可否を左右すると言ってもいいと思います。この部分の勉強に関しては問題を解くだけでなく、時間を計ってやる・ミスしないように丁寧に解くなどのことも大切になってきます。また、この小問集合に近年、「資料の整理・活用」の問題がよく出題されています。そういった単元の勉強もやっておいてください。

問題を単にやるだけでは成果はできません。問題を解いた後も大切です。間違えた問題を中心に「解きなおし」を必ずやっておきましょう。さらに時間を少し空け

て、もう一度解きなおしをやってみるともっと効果的です。

あと、図形の問題を解くときは、問題に出てきた図形の特徴は常に意識しておくことも大切です。中でも「二等辺三角形と円」がよく出てきます。この2つの図形は誰もが知っている図形ですが、いざ問題として出てくると解けないことが多いです。いろいろな問題を解いてみましょう。また、解説も見てわからないなど困ったときは先生に相談して解決するようにしましょう。

受験までに残された時間はまだあります。勉強していく上で大切なのは、当たり前のことですが基本の定着です。また、最後まであきらめずにできることを1つでもたくさんやるという前向きな気持ちだと思います。

小林純先生



## 国語

この時期は入試問題演習を中心に勉強していきましょう。その際より効果的に力をつけてもらうために、意識しておいてほしいことを記していきます。

【読解問題】読解問題は入試問題の中で最も大きな配点を占めます。そのため、まずは時間配分を意識して問題を解く練習をしておきましょう。きちんと時間を計って解き、解き終えた後も単に解き終えることができたかどうかというだけでなく、文章の内容を正確に読み取ることが出来ていたか、文章の構造はしっかりとおさえられていたか、などを分析することが大切です。きちんと分析して、改良するべき点を見つけ出し、次に演習するときにそれをためてみる。そういった試行錯誤を今のうちに何度も繰り返しておき、本番では万全の状態を受験できるようにしておきましょう。

【古文】多くの受験生が苦手意識をもつ古文ですが、実は高校入試ではそれほど高度な内容が問われることはありません。むしろ集中して学習することで大きく効果を出すことが狙える分野です。古語や文法など基礎知識を復習して、覚えていなかったりあやふやになっていたりすることがあれば確実に身につけておきましょう。そのためにはたくさん問題を解いておくことが大切です。また、解いた

後で口語訳や解説をしっかりと読み、自分はこの部分が読めていたのか、またどの部分が読めていなかったのかを把握して復習しておきましょう。そのうえで次の問題に取りかかるといことを繰り返しましょう。

【作文】具体例やしっかりと文章構成をもった作文を書けるようになるためには前もってしっかりと準備しておくことが大切です。たとえば一つのテーマに対して違った角度から何度も文章を書く練習をしておきましょう。そうすることで様々な角度から物事を考える訓練となり、当日しっかりと根拠をもった文章を組み立てることができるようになります。

どの分野についても、問題を解いてそれだけで終わりにするのではなく、自分の解答などをきちんと見直し、次につなげる演習をしていくことが大切です。

恩田聡先生



## 理科

入試問題の6~7割は知識で解ける！そのためにも暗記しなければならない用語・公式をきちんと整理して覚えるようにしましょう。そのうえで各分野の原理・原則の意味を理解し、入試問題にチャレンジしてください。

【生物分野】得点源です！そのためにも語句の暗記が最重要です。暗記するときには、テキストの図版や分類表を眺めるのではなく、改めてノートに必要な情報をまとめます。観察・実験の考察が出題される割合が多いので、記述練習もしておきましょう。

【地学分野】得点源にできます！「地質」では火山や岩石などの暗記分野が多いので、表を作成して知識の定着をしましょう。中3で学習した「天体」では暗記だけでなく仕組みを理解することです。特に、太陽(恒星)・金星や火星(惑星)・月(衛星)の動きは繰り返し練習しましょう。

【物理分野】苦手意識の克服！計算問題が中心になります。中1「光・音・力」中2「電流・磁界」中3「運動・エネルギー」などの単元は暗記だけでは入試問題をクリアできません。教科書を何度も読み直し、仕組みを理解し、公式を覚え、テキスト

の基礎→標準→発展問題へと取り組みましょう。

【化学分野】実験が重要！学年ごとに学習するのではなく、中1~中3まで単元ごとに一気に学習しましょう。物質や性質の共通点や相違点などの特徴・化学反応式・イオン式など暗記分野は表にして覚えましょう。化学は実験問題が多く出題されます。テキストの類題でグラフ・表の読み取り方、計算問題に取り組みましょう。

入試問題を解いた後が重要。間違えた問題に関しては解説を読むだけでなく、解き方をノートにまとめ、テキストで類題を繰り返し練習しましょう。記述問題に関しては、先生に必ずチェックしてもらおうようにしてください。

高井一広先生



## 社会

中学校の学習も終盤を迎え、総仕上げの時期に入ります。とはいえ、広範囲にわたる学習内容にまだ不安の残る人もいるでしょう。しかし、あきらめずに学習を続ければ、社会は最後まで得点を伸ばせる教科です。入試本番で大幅に得点を伸ばした先輩たちの伝説に、あなたも続きましょう！

基礎知識に不安のある人は、要点のまとめや一問一答問題で、すきま時間を有効に使って基礎知識の確認を繰り返し行いましょう。二巡目・三巡目になると、スピーディーにできるようになって自信もつきます。また、人間の脳は図や写真など、視覚情報の処理能力が高いため、「見て覚える」能力を大いに活用しましょう。

上位校に挑戦する人は、入試問題特有の、知識を使いこなして解かなければならない、思考力や記述力・総合力の問われる問題を数多く解いていきましょう。このレベルの人は、入試問題を解くことを通して、自分に不足していた知識や項目を見つけ出して復習につなげたり、未知の用語やトピックに直面して新たな知識の獲得につなげたりする「パッチワーク(つぎはぎ)式」の学習が最も効果的です。そうすることで、同じ問題を二倍にも三倍にも活用して学べます。開成公開テストや模擬試験、過去問で設問ごとの正答率データを入手できる場合は、より正確に自分の弱点分野を分析できますので、ぜひ利用しましょう。

【地理】地図・資料を常に確認しながら学習しましょう。気候・農産物・資源・工業

製品などの統計資料の特徴や見分け方を身につけ、各国や都道府県の特徴をおさえましょう。

【歴史】年表で時代ごとに知識を整理した上で、出来事のつながり、同時代の日本と世界の関係、国の成立や近代化の過程など、タテ(時間)とヨコ(場所)から関係や変化をつかみましょう。

【公民】用語の意味やしくみの理解が重要です。しくみを示す図式や図表をフル活用しましょう。また、定番の記述問題の解答は覚えてしまおうとよいでしょう。

【時事問題】SDGs(持続可能な開発目標)は、新しい入試傾向の筆頭に挙げられる重要なテーマです。また、オリンピック・世界遺産・選挙は入試問題の大好物の題材です。昨年度はコロナ禍にふれた問題も多く出されました。現代社会のさまざまな問題や出来事とリンクした入試問題を解く醍醐味を感じられるようになれば、合格点達成はもう目の前です。

宇田佳史先生



# That's雑学

ざつがく

五感に  
まつわる雑学編  
その①  
Five senses  
NEW YEAR

冬号では光と色にまつわる雑学をご紹介しました。  
新春号は冬号の復習から始めたいと思います。なぜリンゴは赤いのか。  
正解は、赤い光だけが吸収されずに反射するからでした。

雑学①

## しかく 視覚の雑学

先日テレビを観ていたら、血管の色がなぜ青く見えるのかの謎解きをしていました。そう言えば血の色は赤いから青く見えるのはおかしいなあ？でも静脈だから青いんじゃないかな…などと考えていたので、筆者も永遠の5歳の女の子に叱られるところでした。

結論から言うと、これは『色の対比錯視』という現象です。血管自体は皮膚に入った光の吸収率の違いにより、灰色に見えます。なぜ灰色に見えるのかは別の機会に紹介できたらと思います。ところがヒトは似た色が近くにあると、区別のためにどちらかを反対の色に変えて知覚してしまいます。血管の灰色と肌の色は似ているため、よりくすんだ色である血管を肌の色の反対の色（補色）である青色として認識してしまうのです。

色の錯視には対比錯視以外にも『同化錯視』というものあって、日常生活のさまざまな場面で利用されています。例えば、スーパーに買い物に行くと、オレンジ色のミカンが赤いネットに入れて売られています。あるいは緑色のオクラが緑のネットに、白いニンニクが白いネットに入っています。これは『色の同化』と言われる錯視で、商品の色をより際立たせてより美味しそうに見せるためにしていることなのです。



真ん中の正方形は同じ色ですが、左の方が濃く見えますよね。

同じ色の錯視なのに、反対の色に見えたり際立たせたりと、ヒトの視覚は結構あてになりません。

色の錯視以外にも『立体錯視』と言うものがあります。通行する車両からは浮き上がって見えるよう道路に描かれた横断歩道によって、交通事故を抑制する効果が期待されます。駅の通路に浮かんでいるように見える案内標識は、歩行者の通行を邪魔しません。他にもさまざまな、錯視を利用した工夫が日常生活の中に発見できます。お出かけの際には注意して探してみると面白いですよ。

雑学②

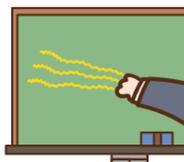
## ちようかく 聴覚の雑学

黒板をひっかく音を聞くと、思わず身がすくむような不快感を感じますよね。その理由を調べてみたところ、これは動物的本能で「サルが集団が危険を知らせる時に発する鳴き声と周波数が同じ」なのだそう。ヒトもサルと同じ霊長類なので、DNAレベルで刻まれた『危険な音』が今でも有効だというわけです。

黒板をひっかく音は2,000~4,000Hzの周波数帯なのですが、その中には様々な音が複雑に混ざっています。ヒトが聞き取る事が出来る周波数は20~20,000Hz前後です。ところが実験の結果、黒板をひっかく音から人間が聞き取れない20Hz以下の低周波をカットすると、あまり不快に感じなくなるようです。

低周波は耳には聞こえないけれど身体が感じてしまう音で、なんとなく頭が重くなった、気分が落ち着かずイライラする、眠れないという症状を引き起こすこともあります。サルの耳にはこの低周波が聞こえているようですが、進化したヒトには聞こえません。それでも「なんだかよく解らないけど気分が落ち着かない」と感じてしまうのです。他にも皿をフォークでひっかく音、発泡スチロールのこすれる音などが嫌いだと言う人もいます。それらも高い音より、それに混ざっている低周波の音が、どうやら悪さをしているようです。

逆に高い音が不快に感じる場合もあります。それは以前に話題になった、若い人でないと聞き取れないと言われる『モスキート音』です。個人差はありますが、20代前半までは17,000Hz前後の甲高いキーンという音が聞こえているのですが、年齢をとると共に聞こえなくなってしまう。夜中に若者が集まってしまう公園でこの音を流したところ、なんだか不快だということから集まらなくなったということもあったそうです。



# 先生からのおすすめ本

We want you to read these books.

小…小学生におすすめ 中…中学生におすすめ 高…高校生におすすめ

### その他おすすめ本

- ①ステップファザーステップ 宮部みゆき 著 / 講談社
- ②一瞬の風になれ 佐藤多佳子 著 / 講談社
- ③キッドナップ・ツアー 角田光代 著 / 新潮文庫



高き十メートルからの飛翔。時速六十キロの急降下。わずかに、四秒の空中演技。皆さんは飛び込みという競技を知っていますか？飛び込みとは、水泳競技の一種で、高さのある飛び込み台より水面に落下、空中の演技から着水までの瞬を競うものです。この物語の主人公は、飛び込みというちょっと特殊な競技をしていること以外は何の変哲もない中学生の知季。しかし、ある日、敏腕コーチに出会ったことで、平凡だった知季の日常は「変」になります。ファストフード店で過ごす友達との放課後、かわいい彼女、中学生として当たり前の日常、全てを犠牲にして、なんとオリンピックを目指すことに。しかし、オリンピックを目指すと日々は決して順調だったわけではありません。平凡な少年であった知季は何度も葛藤します。何度も逃げ出そうとし、何度も練習をサボります。しかし、何度逃げ出そうしても絶対にまた、飛び込み台の上に戻ってくるのです。平凡であった少年のすべてをかけた、青春の熱い戦い、読後には皆さんも、きっとなにかに打ち込みたくなると思いますよ。



「DIVE!!」  
森絵都 著  
KADOKAWA / 角川文庫

柳井 知花

先生おすすめの

小 中

### その他おすすめ本

- ①復讐書簡 濱かなえ 著 / 幻冬舎文庫
- ②マスカレード・ホテル 東野圭吾 著 / 集英社文庫
- ③カラフル 森絵都 著 / 文春文庫



私がこの本と出会ったのは中学生の頃だと思えます。学校の図書館でこの本を見つけ、名前だけ見て恋愛小説かな、おもしろそうだなと思っ手に取ったことを今でも覚えています。しかし、その期待はいい意味で裏切られました。まず、この本はガッツリ恋愛小説というわけではありませんでした。交通事故にあった主人公が、その事故で犠牲になった4人の幽霊の願いをかなえたら、それぞれの残した貯金をすべて手に入れることができるという契約をして、大金を求めて奔走するという話です。幽霊の願いはどれも難しいものが多いのですが、それらを解決する中で、「生きていくことのすばらしさ」などを学んだ主人公が変わっていくというお話になっています。物語の結末は普段あまり本を読まない私が号泣するほど感動しました。私たちは生きていくことは当たり前と考えて、物事を後回しにしてしまいがちです。この話を読んで、そんな「当たり前のこと」がありがたいことなのだと思えました。皆さんは普段、家族に感謝を伝えていますか？きっとこの本を読んだら、自分の大切な家族に「いつもありがとう」と言いたくなると思います。ぜひ読んでみてください。



「彼女との上手な別れ方」  
岡本貴也 著  
小学館

本田 美月

先生おすすめの

中

### その他おすすめ本

- ①新釈 走れメロス 他四篇 森見登美彦 著 / 角川文庫
- ②となり町戦争 三崎亜記 著 / 集英社
- ③楽園のカンヴァス 原田マハ 著 / 新潮社



タイトルのインパクトに惹かれて、手にとりました。「パリー・トワード」とはポルトガル語で「何でもあり」という意味らしいのですが、これは担当編集者が筆者に「何を書いてもいいですよ」と伝えたこと由来するようです。この本は、タイトルに「言語学」とありますが、言語学の専門的な本ではなく、世の中にあふれる言葉の「なぜ？」や「しくみ」を面白おかしく解説し、様々な切り口から言語学に関する話題を紹介しています。「恋人がサンタクロース」はなぜ「恋人はサンタクロース」ではないのか、というトピックが取り上げられています。この「は／が」の問題は、一筋縄ではない事柄の1つなのですが、筆者は言語学者としてどう考えたのか、その思考のプロセスを活字化してくれています。また、言葉の「意味」と「意図」を、お笑い芸人の「絶対に押すなよ」を例にして言語分析をしていたのが面白かったです。日ごろ無意識に使っている言葉について、改めて考え直すきっかけになる本だと思います。日常的に気をつけなければならぬ言葉の用法にも触れられていますので、言葉に興味がある方ももちろんのこと、そうでない方も、是非一度読んでみてください。



「言語学パリー・トワード」を解読するカギ  
川添愛 著  
東京大学出版会

宗我部 祐介

先生おすすめの

中 高